

正々堂々走り抜くことを誓います
「第24回小川和紙マラソン大会」



特集
議員の聞く×つなぐ
P.2

子供議員 18人の声

P.6

議員のつばやきにも注目
一般質問に
12人が登壇

No.82 おがき 2017 冬 ぎが 12月定例会 埼玉県小川町議会



P.14

わたしのひとコト「だから小川が好き」

中村美香さん
大好きな小川町で、多くの方と触れ合っていきたい

峯岸守恵さん
すばらしい環境の中で、暮らすことに感謝

P.6

ミニコラムにも注目
議会のイメージ
期待することは
14人の声

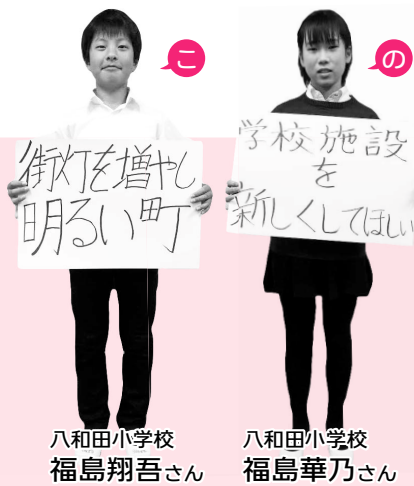
表紙に使用している画像は、小川和紙に色を付けて漉いた「雲龍紙」です。
「行燈」などに使用され、光を通してとても美しく見えます。また、きれいな彩から小物にも加工され利用されています。

各ページ下にも
町のみんなから
ひとコト！

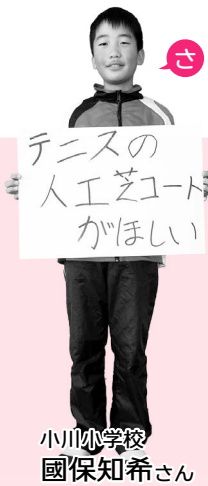




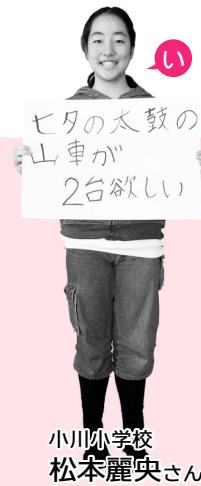
昨秋、23年ぶりに開催された子供議会。全9校の町立学校から18人の子供議員が選出されました。最初は緊張していた子供議員も、一般質問や未来宣言の決議に臨む中、堂々とした姿で町の施策等をただしていました。今回は特集として、大活躍だった子供議員の皆さん取材しました。



八和田小学校 福島翔吾さん
八和田小学校 福島華乃さん



小川小学校 國保知希さん



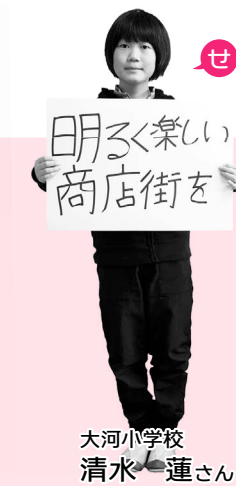
小川小学校 松本麗央さん



竹沢小学校 菅原海人さん



竹沢小学校 門間咲来さん



大河小学校 清水蓮さん



大河小学校 石渡千晶さん

平成28年10月18日 子供議会を終えて

子供議員18人全員が 次回開催を求める

もっと子供たちの声に耳を傾けて！

Q 議場に入った瞬間の気持ちを教えてください

- ・やばい…
- ・不安と緊張と、ワクワク感
- ・頑張るぞ。やってやるぜ
- ・緊張しすぎて、あまり覚えていません
- ・思ったより議場が広かった

Q 一般質問に対する町の答弁に満足しましたか

- ・「できない・やっていない」という答えが多かった気がする
- ・満足したところもあった
- ・もっと具体的に「ダメ」な理由を知りたかった。ダメなら他の案を教えてください
- ・丁寧に答えてもらったので満足
- ・実現できるか返事をしてほしいものが多かった
- ・町長が答えてくれたので嬉しかった

取材を終えて

編集委員の一言

- ・議会をもっと身近に。子供新聞のような、子供向けの「子供議会広報」を編集・発行してみたいと感じました。(高瀬 勉)
- ・子供議員の男女比は半々。町議会もそうなればいいなあ。(田中照子)
- ・子供が理解・納得できる説明を心がけること。それは、全ての町民に対する優しさですね。(戸口 勝)
- ・子供議員さんたちには、前もって一度は本会議の質問場面を見せておきたかった。(笠原 武)
- ・ここで大切なのは、相手に考えてもらう、考えさせること。その機会をつくってゆくことです。(島崎隆夫)
- ・「私達は小川町の未来を受け継ぐ準備をします」の発言に、襟を正すべきは大人ではなかろうか。(笠原規弘)

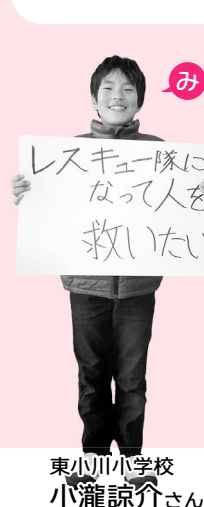
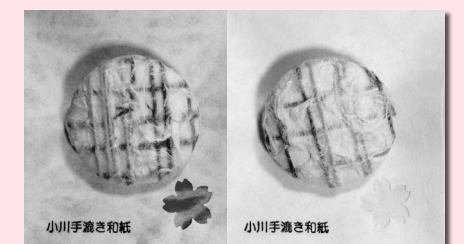
Q あなたにとっての「小川町」とは

- ・自然の豊かさが自慢
- ・とても大切な場所
- ・心落ち着く場所
- ・いつまでも私の家
- ・災害が少なく住みよい
- ・みんなが仲良くて家族のような町

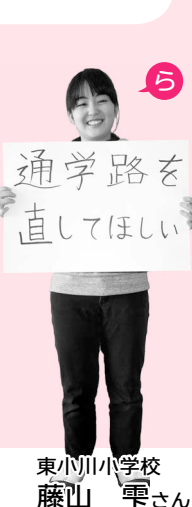


世界に一つだけの 子供議員バッジ

子供議会当日、議会から子供議員に対して、記章(子供議員バッジ)を贈呈しました。この記章は、「小川和紙を愛する会」の皆さんが制作したもので、カラーは赤・青・黄・緑・橙の全5色。独自の製法からなる色糸紙を使用しています。



東小川小学校 小瀧諒介さん



東小川小学校 藤山 聖さん



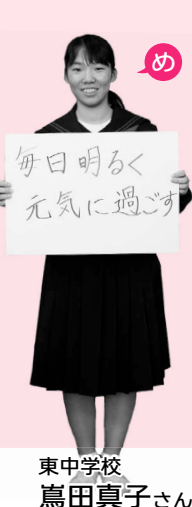
みどりが丘小学校 田端皓平さん



みどりが丘小学校 平山真唯さん



東中学校 飯島秀悟さん



東中学校 鳥田真子さん



西中学校 吉川海斗さん



西中学校 竹内 綾さん



樺台中学校 笠原健太さん



樺台中学校 金子陽菜さん

請願審査

建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める請願書

請願者

ときがわ町玉川923-4
埼玉土建一般労働組合同比企西部支部
折原 官

請願結果

厚生文教常任委員会に付託し、委員長報告は「不採択」でした。本会議での審査も「不採択」となりました。

審議した議案と議員の賛否をお知らせします

議 案 名	審 議 結 果	笠原 武	井口 亮一	笠原 規弘	田中 照子	高瀬 勉	山口 勝士	高橋さゆり	松本 修三	金子 美登	松葉 幸雄	大戸 久一	島崎 隆夫	柴崎 勝	宮澤 幹雄	戸口 勝	根岸 成美
課設置条例の一部を改正する条例制定 ※平成29年度に防災地域支援課を新設	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定 ※教育相談室等の指導員報酬を月額から日額に変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般職の職員の給与に関する条例及び小川町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例制定 ※給料を平均0.2%引き上げ。子育て世代の扶養手当が充実等	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
税条例の一部を改正する条例制定 ※免税されている台湾の機関で得た利子・配当が課税の対象に	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
在宅重度心身障害者手当支給条例の一部を改正する条例制定 ※支給制限施設に障害児入所施設等を追加	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度一般会計補正予算（第3号） ※予算に5365万5000円を追加。総額は90億9321万8000円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号） ※予算に1億1995万円を追加。総額は42億3203万8000円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） ※予算から116万円を減額。総額は3億4913万9000円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第2号） ※予算に3255万8000円を追加。総額は25億8664万円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度下水道事業特別会計補正予算（第2号） ※予算から1291万7000円を減額。総額は7億1596万6000円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号） ※職員給与費を増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度水道事業会計補正予算（第2号） ※職員給与費を増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
教育委員会委員の任命 ※よしどのりまさ 吉田徳匡氏を任命	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
庁用自動車への追突事故の物件損害に関する和解 ※追突され全損した庁用自動車に対する物損の和解	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小川中央陸橋耐震補強工事請負契約の締結 ※請負者 ヤマグチ工務店。代金 6129万円。工期 平成28年度末まで	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願審査結果																	
建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める請願書	不採択	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※（○は賛成、×は反対、欠は欠席）議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します

Main question Pick up

課設置条例の一部改正
防災地域支援課を新設

Q 本年度に機構改革を行なったばかりであるが、なぜ、この時期に改正するのか。また、事務分掌の再編でどのようなことを担当していくのか。

A 昨今の異常気象などを踏まえ、住民の生命や財産等を守るために対策をしていかなければならないと考えました。それと同時に、有事の際の体制強化と縮減の観点から地域の自主防災組織の育成と、共助社会を醸成していく必要性を総合的に判断して変更しました。また、地域との連携強化の中で、防犯や交通安全の確

認と自治振興の推進、住民からの相談や要望を受け付け、処理をしていきます。

Q 防災地域支援課の設置により、役場の体制と町民にどのような影響・変化があるのか。

A 発災時の迅速な対応と指揮系統の強化をすることにより、町民の安全・安心が図られると考えます。また、行政区のコミュニティ推進や、町民相談事業の充実を図っていきたく考えます。

議会は議論の場 町民に資する議論は大歓迎（町長の発言から）

課設置条例の一部を改正する条例制定の審議は、冒頭に「議案の範囲を超えた質疑内容」を理由に、執行側が答弁を留保。計4回で86分間にも及ぶ休憩を要しながら、採決に至りました。休憩中には緊急の議会運営委員会を開催。正副町長を参考人招致し、その姿勢をたどりました。
※紙面の都合上、やり取りの詳細は会議録で確認してください。（今定例会の会議録は2月末ごろから見られます）
※対策については、議会運営委員会で行っています。

平成28年度補正予算

子育て支援の充実へ

Q 子供子育て施設整備推進事業費として、873万8000円の設計委託料が示されたが、事業の詳細は。A 国の地方創生拠点整備交付金を活用し、地域における子育て支援の拠点施設として、子育て支援センターの整備を考えています。活用のアイデア・イメージとしては、6点に及ぶ施設の改修を検討しています。

Q 地方創生の柱である人口減対策において、重要課題の「子育て支援」だが、担当課に限らず全庁的な取り組みとしての事業提案と捉えてよいのか。

A 全体の意思・方向性は、交付金の決定を見るまで申し上げづらいところです。交付金の決定がかなった際には、厳しい財政状況ではありますが、「選択と集中」の観点から政策判断・決定がされていくものと考えています。



※①総合窓口の設置（ワンストップ化） ②飲食可能な子育てサロンの開設 ③検診・療育スペースの新設 ④多世代交流スペース設置に向けたエレベーター新設 ⑤空調設備・トイレ・授乳室の改修 ⑥離乳食提供可能な子供福祉避難所 としての改修

12月定例会

質疑から
Pick UP!

今定例会では、平成28年度一般会計・各特別会計の補正予算や、教育委員会委員の任命など、15議案を審議。すべて原案のとおり議決しました。
一般質問は12人が登壇し、当面する諸問題について町の見解や対応をただし政策提言を行ないました。

一般質問とは、町の施策等について、議員が町に考えや意見を求めるものです。議会だよりでは、このやりとりを要約して報告します。



まだまだ備えは不十分。

高瀬 勉が問う

実践的な防災と危機管理を

車中泊する避難者への対応を、地域防災計画に明記する考えは。

A 総務課長 現行の計画は、屋内建物での避難生活を想定したものとなっています。避難所が分散し過ぎると避難者への支援が困難となる事態も考えられるので、今後は、避難所となる学校体育館に隣接するグラウンド等を駐車スペースとして活用できるか研究していきます。

Q 災害後対処訓練だけでなく、「災害予防訓練」の重要性を感じたが。

A 総務課長 水害や土砂災害は、災害が発生する前の対応が重要であるとの観点から、避難誘導訓練などを検討していきたいと考えます。

Q 超高密度気象観測システム「POT EKA（ポテカ）」¹の導入を図る自治体が増えているが。

A 総務課長 現在は、気象庁や熊谷地方気象台が発表するデータ・情報と、国土交通省の河川防災情報や町内3カ所の雨量計データ等を活用し対応しています。ポテカの導入については、システムの詳細や費用負担等を考慮し、研究していきます。

Q 「命の笛」²の購入推進と補助を。

A 総務課長 重要性は理解していますが、現在購入や補助は考えていません。



命の笛。その音は、陸上では800メートル、水中でも15メートル先まで聞こえます。



女性の目線を生かし、新しい気づきを。

田中照子が問う

町活性化に女性の活躍を

女性の行政区参加への啓発が図られているが、女性区長の誕生は。

A 総務課長 現在76行政区中、女性は1人です。区長は、各行政区の自主的な運営に基づき推薦されます。今後も男女共同参画社会の観点からも、女性行政区役員の参加啓発を図ります。

Q 女性の活躍には子育て支援の充実が不可欠である。町の問題点、その解決に向けた取り組みは。

A 子育て支援課長 当町でも、産後早いうちから働く女性が増え、0・1・

2歳児の保育需要が高まっています。こういった中、小川保育園では4月から受け入れ枠10人の定員増に向け、乳児棟の新築工事が行なわれており、国・町で補助金を交付しました。

歴史的建造物の活用を

Q 町や個人所有の歴史的建造物を登録有形文化財とする方向性は。また、個人の登録に関し費用面での支援の考えは。

A 生涯学習課長 当町には既に多くの文化財がありますが、蔵や町屋の町並みも本町の特徴です。歴史的建造物は文化財保護の観点から、その価値等を検証し登録を進める必要があると考えます。個人登録への財政的な支援は考えていませんが、助言等を行ないたいと考えています。



乳児が口に触れても安心・安全な木材使用。園児も参加した上棟式。(小川保育園)



福祉用具の貸し出しを軽介護者から奪わないで。

笠原 武が問う

有料化で軽介護者への影響は

4・8月の要支援1から要介護2までの福祉用具貸与利用者は延べ1322人で、利用用具個数は延べ3727個である。これが有料になったときの影響は。

A 長生き支援課長 福祉用具の利用は自立と介護負担の軽減、運動機能の保持や転倒防止などの介護状態の重度化防止にも効果があります。費用負担が困難な方が福祉用具の利用をやめた場合、介護負担の増加と介護状態の重度化が考えられます。

観光事業への取り組みは

Q テレビ等で取り上げられたヘメロカリスを栽培されている方や、バラの会などの方の力を借りて、まちおこしの観光事業につなげていくつもりはないか。

A にぎわい創出課長 個別に対応しながら、積極的に支援していきたいです。

パトリアおがわの設備改善を

Q プールの西日よけ・浴場の壁のカビ取り・脱衣所床の直し・ぬれた水着の絞り機(脱水機)の取り付けなどをすべさだと思ふが。

A 健康福祉課長 西日よけ・水着絞り機の取り付けは、財源がありません。壁のカビ取りと脱衣所の床直しは対応しました。



入浴・温水プールなど、憩いの場でもあるパトリアおがわ。

解説 命の笛²

群集・騒音・爆発音などの中でも、人が一番聞き取りやすいと言われる周波数3150ヘルツに合わせて調律されている。また、どんな気候・天候でも同じように機能が発揮できる。

解説 ポテカ¹

さまざまな場所に設置可能な小型の気象計で、それらを結ぶネットワークで構成される。ピンポイントかつリアルタイムで気象情報や変化を得られる。



はじめてホームページから会議録を読みました。たくさんの意見があってスゴイ。

(H・Mさん・59歳)



いつも「議員さん」として見られてるって、大変ですね。

(S・Kさん・44歳)

Mini Column

オガワマチのこと
ギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「議会のイメージ・期待することは」

本会議における一般質問の議員1人の持ち時間は、答弁も含めて75分以内と決められています。



がんばれ！未来をつくる熱量のくらべっ。

とくち まさる
戸口 勝が問う

未来を拓く新年度の戦略は

Q 国の地方創生関連交付金の活用は考えているのか。

A 政策推進課長 地方創生拠点整備交付金を活用し、子育て支援センターと旧下里分校の一部を、子育て支援と地域資源PRの拠点として計画しています。また、商工会と連携して創業希望者への相談窓口開設や、空き店舗改修補助等の支援を強化する「創業者支援」を計画しており、国への申請や計画策定の準備を進めています。

Q 「町における安定した雇用を創出する」企業誘致策の具体案は。



放課後学童クラブに入れるから親は安心して働ける。

いぐちりょういち
井口 亮一が問う

放課後子供教室の開設は

Q 放課後子供教室の開設に向けた取り組み等は。

A 学校教育課長 準備会議を立ち上げて、運営方法や人材確保など検討しています。来年度、1カ所を開設します。

Q 放課後学童クラブの定員は適正か。また、指導員の不足や待遇に課題はないか。

A 学校教育課長 みどりが丘小学校区の入所希望が増えたため、余裕教室を活用し、「杉の子放課後学童クラブB」を開設しました。また、各学童クラブに



人材育成こそが、未来の小川町を明るくします。

たかはし
高橋 さゆりが問う

学校教育の充実を

Q 国では、がん教育に対して来年度から本腰を入れるようだが、当町の取り組みは。

A 学校教育課長 埼玉県教育委員会が実施している「がんの教育総合支援事業」などの研究成果を生かしながら、町内小中学校のがん教育の充実を図っていきます。

Q 家庭環境の変化で、児童・生徒が孤独になっている場合がある。学校がどこまで関われるのか。また、地域や行政との連携はどう取り組んでいるのか。

A 学校教育課長 担任や学校が個々の家庭内の状況に踏み込むことはおのずと限界があります。

適宜、「さわやか相談員」「スクールカウンセラー」「スクールソーシャルワーカー」と、民生委員・児童委員・行政長官・PTA等との情報交換をしています。また、主任児童委員・子育て支援課・児童相談所等で相談を行なっています。

Q 認知症サポーター養成講座の小中学校への展開は。

A 学校教育課長 まず中学生を対象にしていきたいと考えています。継続的に実施できるよう体制を整えていきたいと考えます。

その他の質問
・町有地の活用は



国の交付金活用が期待され、整備予定の子育て支援センター。



利用する児童が増えている、みどりが丘「杉の子学童クラブ」。



がん教育の先進地、熊谷市大原中学校の生命の授業風景。



このごろ議会での発言が活発になっています。喜ばしいことです。

(T・Tさん・81歳)



議員全員が議場入場・退場のとき、一礼していますね。感じがいいです。

(S・Kさん・53歳)



町民に開かれた議会とは？ 本気で考えてください。

(T・Sさん・75歳)



住みやすい町にしたいってください。

(M・Kさん・63歳)

Mini Column

オガワマチのこと
ギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「議会のイメージ・期待することは」



近隣町村と連携図つて、ジビエと猟友会の拠点づくりを。

しばさき まさる
柴崎 勝が問う

鳥獣被害の現状と防止対策は

AQ 本年は全国的に熊の出没が相次いだ。当町でも被害者が出たが、対策は。

A 環境農林課長 緊急性もあり、ラミネートプレート看板を設置しました。被害が甚大になる恐れがあるため、防災無線と防災メールを活用した早期の情報伝達と、ホームページや回覧等で、さらなる周知を図っています。

Q イノシシや鹿による農業被害状況は。

A 環境農林課長 平成26年度が64アールで17万1千100円、27年度が



夜行性のイノシシが昼間にも出没するようになった。(市野川付近)

A 環境農林課長 有害鳥獣の増加に伴い処分や有効利用は、これからの課題と認識しています。今後は小川猟友会の協力を得ながら、新たな技術や状況の確認を行なうとともに、近隣町村と連携等を図ってまいります。

その他の質問

・旧上野台中学校の活用は



「年数だけが過ぎていく」町民の声があふれています。

やまぐちかつし
山口勝士が問う

町活性化に小川和紙の活用は

AQ 今年度、予算化された新たな和紙製品・商品開発の進捗は。

A にぎわい創出課長 3紙（細川紙・石州半紙・本美濃紙）で取り組む「ユネスコ和紙ブランド推進連携事業」の一環で、販路拡大・開発事業として、新たな和紙製品の開発を検討しています。和紙を既存の紙製品にコーティングする手法や、特性を生かした立体的な折り紙など、研究中です。

Q 来る東京オリンピック・パラリンピックで、和紙を使用してもらうた



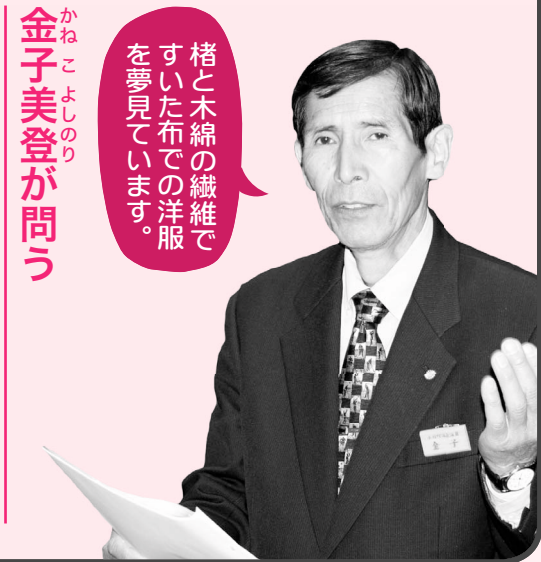
伝統工芸会館の来場者は、ユネスコ無形文化遺産登録後は増加しているが…。

めの働きかけ等は。

A にぎわい創出課長 日本体育協会や東京オリンピック・パラリンピックの組織委員会などに働きかけを行なう中で、製品の供給体制などの課題を認識しています。今後3紙での連携を強調し、取り組んでいきます。

Q 埼玉県が進める川越から秩父を発着とする広域観光周遊ルート「SAITAMAプラチナルート」に対する取り組みは。

A にぎわい創出課長 現在、埼玉県で計画中のプラチナルート構想に関与し、和紙を軸に体験型の観光をアピールしています。しかし、多言語標記の案内看板対策など、訪日外国人に備えた取り組みには、まだまだ課題があります。



楮と木綿の繊維ですいた布での洋服を夢見ています。

かねこよりのり
金子美登が問う

在来大豆と和綿でまちおこしを

AQ 「農の営み」を「教育」の中に取り戻す必要はないのか。

A 学校教育課長 埼玉県が設定する「みどりの学校ファーム」に取り組む、学校単位で農園を設置しています。また、生活科・家庭科の教科や特別活動・総合的な学習の時間などに位置づけて、農業体験活動に取り組んでいます。今後も、農業従事者や地域の方々の協力・連携を得て、農の営みを学ぶ体験活動の充実に努めます。

Q 昨今、食卓の大半を占める輸入品・加工品・調理済み食品。また、孤食



子供たちと栽培し収穫した茶綿を、綿繰機で綿毛と種に分ける作業の様子。

や外食の日常化は、日に何十もの食品添加物を摂取することになる。特に子供を取り巻く「食」の安全には心配を覚えるが。

A 学校教育課長 学校給食では、汁物のだしは天然だしを使用しています。大量調理のため、加工食品の使用が多くなりますが、原料配合表や産地証明書を確認し、食品添加物を使用していない安全なものを選んでいきます。

AQ 「在来大豆」と「和綿」で、まちおこしを兼ねた学校農園を持つ考えは。学校教育課長 各学校に、在来大豆と和綿を用いた取り組みについて情報提供を行ない、教育活動のバランスをふまえた食農教育の実践が各校の判断で進められるよう促します。

Mini Column

オガワマチのこと
ギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「議会のイメージ・期待することは」



バランスのよい年齢構成を望みます。

(N・Sさん・40歳)



住民のために勉強していただきます。

(K・Tさん・61歳)



子供たちに「議員になりた〜い」って言わせてちょ。

(S・Cさん・43歳)



地元企業の立場に立って、行動を取っていただきたいです。

(M・Kさん・38歳)

弱さを助け、すべての悪事を許さず、唯々真面目に。

しまぎたかお
島崎隆夫が問う



交通弱者の目線での安全確保を

Q 交通安全に特化したアンケートの実施やシンポジウムを開催し、町民全体での情報共有と安全対策について考える機会をつくっては。また、昨年9月に質問し、同時に点検を願った小中学校の通学路の安全点検及び危険箇所の確認は。

A 総務課長ほか 提案のようなことは考えていませんが、日ごろから交通安全策にご協力いただいている方々からの情報や意見を徴集し、対策を考えます。また、通学路の点検は終わり、県土整備事務所へ現状を報告しました。今後は、県町・

事業の成功は、やる気・本気で行動あるのみ。

おおとひさかず
大戸久一が問う



町活性化策の現状と今後は

Q 男女共同参画社会の実現に向けた女性応援のための取り組みは。

A 総務課長 現在働く女性や働きたいと願う女性が、その思いを実現できるように、労働相談や町内公共施設等にパンフレットを設置し、啓発しています。

Q 11月27日図書館にて「男女共同参画・子育て支援合同講演会」が行なわれた。目的やテーマに資する内容であったか。

A 総務課長 「働く女性の活躍・応援」が重要であるとの認識で、開催しました。

「地方創生」とは、地方自治体のサバイバルレースです。

かさほらのりひろ
笠原規弘が問う



人口減には企業誘致で対策を

Q 本年度行なった企業誘致施策の実績報告を。

A にぎわい創出課長 企業支援グループでは、県の企業立地課などと連携し、産業用地の掘り出し作業を進めています。また、活用されていない土地所有者へ積極的な活用をお願いしています。

Q 都市計画マスタープランで設定された20年後の将来人口は、社人研推測値よりも4000人ほど多い2万3920人であった。働く場所をつくるという意味において、新たな工業用地の確保は。

警察それぞれでの対応が進んでいきます。
いじめはなくなるのか

Q 全国的にいじめの被害者が減らないが、町内小中学校での把握と対策は。

A 学校教育課長 児童生徒にアンケートを年2〜3回実施するとともに、生活ノートやチャンス相談を利用し、小さな変化に気づき、いじめの早期発見と解消に努めています。また、担任・養護教諭やさわやか相談員、スクールカウンセラーによるケアを行なうとともに、家庭訪問も行ない連携を密にし、継続的に支援を行なっています。

その他の質問
・自主防災組織と消防団の協力で共助の社会を



現場を知っている住民との情報共有から安全対策が進むのでは。

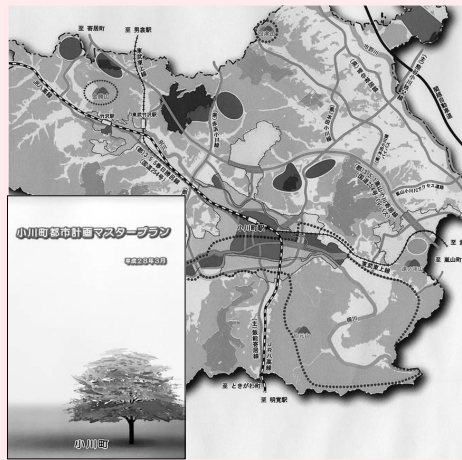


橋上通路等の整備が待ち望まれる小川町駅周辺。
(画像 © 2017 Digital Earth Technology, Globe Digital Globe, 地図データ © 2017Google, ZENRIN)

Q ふるさと納税を同窓会等のあらゆる機会に積極的にPRしてもらっては。また、「ガバメントクラウドファンディング3」等の手法を用いて、懸案である「駅北口開設」の実現は。

A 政策推進課長 楽天株式会社とのふるさと納税サイトに当町のページを掲載し、今まで以上に魅力や特産品のPRが可能になりました。また、ガバメントクラウドファンディング3は、短期間に広範囲から資金調達が可能になるなどの魅力がある一方で、目標額に達しなかった場合等のリスクもあり、慎重な判断が必要です。制度設計や事業選定など先進自治体の例を参考に、効果的な活用方法を研究します。

その他の質問
・改築間もない西中学校の雨漏り等は



示された土地利用方針図。どのように活かしていくのか。

A 都市政策課長ほか 新たに町内利用構想を示しました。活性化に向けた方策として、企業誘致と雇用の創出は重要だと考えています。一部調整区域内において、工業・流通系用地を検討地として組み入れた案件がありました。地域住民説明会を開き、区域指定を行なっていく予定です。

Q 中小企業への支援や助言は。

A にぎわい創出課長 町内企業への支援も欠かせないという認識のもと、商工会等と連携し企業訪問を始めています。事業展開の方向性や要望等を聞き取り、できる支援を関係機関と進めていければと考えています。初開催となる「合同企業就職説明会」では、さまざまな意見をいただきました。

解説 ガバメントクラウドファンディング3

自治体が実施する特定の事業に対し、ふるさと納税という形で資金調達する方法。資金の使途が明確に限定されている。



子供の未来を考える機会を目指してください。よろしくお願いします。

(Y・Tさん・36歳)



議会が身近に感じられるような取り組みをしてほしい

(S・Sさん・46歳)



議会が形骸化していませんか？

(I・Kさん・78歳)



なんかモヤモヤ。すっきりさせて！

(K・Kさん・51歳)

Mini Column

オガワマチのこと
ギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「議会のイメージ・期待することは」



些細な出来事 から感じたこと



峯岸守恵さん(下里)
Morie Minegishi

先日、夜遅く帰宅した息子が「お母さん、星がすごいよ。こんなに見える」と言いました。確かに自宅の庭から見上げると、満天の星が見えます。しばらく2人で夜空を見上げながら、改めて感動してしまいました。

我が家の近所には、初夏になると蛍がたくさん見られる場所があります。子供が小さいころには一緒に夕涼みの散歩に行き、蛍を見て帰ってきました。水がきれいだからこそ、蛍も生息できます。

春には槻川沿いの山道に、きれいなカタクリの花が咲きます。毎日眺めている仙元山も季節ごとに景色を変え、とてもきれいです。

こんなに素晴らしい環境の中で暮らせていることに、改めて感動しました。

これからもこの素晴らしい環境を残していけるよう、私も微力ながら努力していこうと思います。

わたしのレポート

私は、古寺で生まれ育ちました。山で木登りをしたり、川で小魚やカニを捕まえて遊びました。夏の夜は蛍が飛び交っていたことを覚えています。

今は、青上に主人と子供3人とで暮らしています。母親になり、改めて家族・友人はもちろんのこと、学校の先生や地域の皆さんに支えられながら生きていることを実感しています。

現在、我が子とよく足を運んだ児童館で働いています。来館する子供達との交流の場を豊かにしていきたいと考えています。

また、趣味のテニスでは、総合運動場で小学生と一緒に体を動かしています。さらに、公民館や西中学校で、「琴」の指導をする機会にも恵まれました。感謝の気持ちでいっぱいです。これからも「ありがとう」の力を信じ、大好きな小川町で多くの方と触れ合っていきたいです。



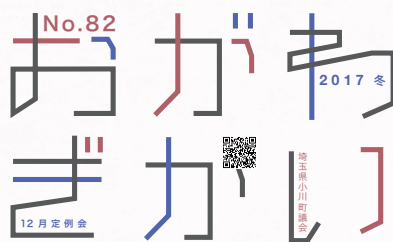
信じています。
「ありがとう」の力

中村美香さん(青上)
Mika Nakamura

傍聴から はじめよう!!

どなたでも傍聴できます (事前連絡は不要です)
役場3階にお越しください

次回定例会は
3月1日(水)~
開会は**10時**です



No.82
小川町議会だより
平成28年12月定例会冬号
(平成29年2月1日発行)

発行責任者：小川町議会議長 根岸成美

編集：議会広報発行特別委員会

委員長 高瀬 勉 副委員長 田中照子

委員 戸口 勝・笠原 武・島崎隆夫・笠原規弘

編集後記

「ミスターウチムラ、あなたは審判員に好かれていて感じていますか」「ジャッジは神聖なもの、公平だと思う」。リオ五輪記者会見のワンシーン。歴史的死闘に水を差す愚かな質問と言われたが、事態は意外な展開へ。内村選手と敗れたオレグ選手との間に、互いをたたえ合う姿が映し出され、美談を生んだ。体操競技の本質を知る2人に、にわかスポーツ記者が入る余地はない。本質を追求すること。議会人として、心掛けたいものである。(笠原規弘)